



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄道)千葉 2935・2936 番  
(公)千葉 (22) 7207 番

90.10.17 No. 3294

## 「国連平和協力法」は戦争協力法だ！

# 自衛隊の海外派兵反対

重大な決意をこめ、自衛隊の海外派兵を粉砕するために起ちあがらんことを訴える。

政府・自民党は、今臨時国会で、自衛隊の中東派遣のための「国連平和協力法案」を強行成立させようとしている。

政府・自民党は、中東危機をテコ(いいチャンスとばかりに)にして、憲法すら踏みじり、一挙に自衛隊の海外派兵戦争への道にふみだすという歴史を画する重大攻撃をかけてきている。

四十五年前、中国・朝鮮・アジアで二〇〇万人の人民を虐殺した歴史を忘れ、再び戦争と侵略にのり出そうとすることを、どうして許せようか。

今、日本中の労働者、人民は、不安と怒りと危機意識をもって、反対行動に起

### 歴史の 蘇り 蘇り

たなければ、という気運も日増しに高まっている。一方、右翼は、日の丸をこれぞとばかりにふり、軍歌を声高に鳴らし、街頭に出ている。

情勢は、一刻の猶予もないところに立っている。

朝日新聞・十月十六日の社説ですら、「政府・自民党はいま、この最後の一线というべきものまで取り払おうとしている。こういいうやり方に反対する。憲法のあるべきものが問われている。…」と警鐘を乱打している。この攻撃の前に、野党はどしがたい動揺と屈服の姿をさらけ出している。

民社党 は公然と、自民党案に派兵賛成をはじめ、公明党 は「自衛官の身分を外し、休職・出向扱い、時限立法ならよい」という屈服の姿をさらけ出している。野党は、イラクのクウェ

# 反戦、反天皇、 自衛隊海外派兵絶対反対 秋季国等集会全力起とう

1ト侵攻に対し、(それ自身抗議されるべきだが)イラクを非難するのみであり、アメリカ帝国主義の強盗的戦争行動や、これまでの中東への支配と石油の独占、イスラエルを使ったパレスチナ人民の追放とアラブ諸国への侵略と占領について一言もふれず、免罪しているのが現実の姿である。アメリカ・日本と、最悪の侵略者であることをはっきりさせなければならぬ。

### 「国連平和協力法」は戦争協力法だ

第一に 「国連」「国連軍」と言っているが、今の国連はアメリカ帝国主義の完全な道具であり、侵略戦争を推進する機関であることについては、「常識」となっている。かつて、「東洋の平和」をかけた、侵略戦争に突っこんでいったのと、どこが違うというのか。それをあたかも「平和」のためと称して、戦争協力にのめりこもうとしているのだ。

第二に 活動内容を輸送・通信・機材補修・医療などに限定し、「武力にあたる行為はしない」と言うが、これほど見えすいた言いわけはない。活動それ自身が戦争行為の一環ではないか。

第三に 自衛隊を憲法の制約から解き放ち、「首相直屬」にしようとするものであり、これは憲法や議会を無視したところでの天皇への自衛隊の直命をめざしているのである。つまり、自衛隊を、天皇制国家を担う軍隊として社会的に認めさせる突破口を開こうとしていることである。

第四に 政府・自民党は、海外派兵の恒久立法を狙っている。十月一日、ニューヨークでの記者会見で、カンボジア派兵を挙げ、アジアへの

派兵―侵略をはっきりと考えているということである。―その他、問題は山ほどある。要するに、政府・自民党は、天皇と自衛隊を一つのものにし、自衛隊が再び天皇を最高指揮官として登場させ、帝国主義軍隊としての確立を狙っているのである。

90年代の勝利へ、新たな10年を切りひらこう！